

[2. 抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>令和3年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：2021年度 I (アイ) ボッチャ 2021 in 大阪大会 ～噛むことで高めよう、生きる力と競技力！</p>
<p>2. 申請者名：特定非営利活動法人 アダプテッドスポーツ・サポートセンター 白水 雅子</p>
<p>3. 実施組織：特定非営利活動法人 アダプテッドスポーツ・サポートセンター</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>本団体は、高齢者・障害者に関わる個人・団体に対して、障害者のスポーツを支援する事業を行うことにより、アダプテッドスポーツの振興に寄与することを目的としている。2005年の設立以降、毎年スポーツを通して「ノーマライゼーション社会」の実現を目指した事業を展開しており、本年度は、噛むことをテーマとし、咀嚼の効用と地域における障がい者（児）における歯科保健医療の情報発信を行うことで、口腔健康管理の向上および口腔機能を通じて食と運動の両側面の支援を目的とした事業を実施する。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>本団体が例年実施する障害者スポーツ大会（競技名：ボッチャ）において以下の3つを実施した。</p> <p>①大阪歯科大学附属病院 障がい者歯科 田中佑人先生より咀嚼と健康との関係およびスポーツパフォーマンスへの影響に関する講話を行った。</p> <p>②出場者とその家族、大会関係者を対象に、咀嚼能力判定グミ（UHA 味覚糖）を用いた咀嚼能力の測定を実施した。</p> <p>③摂取食品アンケートと歯科保健指導および地域における歯科医療サービスの紹介を行った。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>咀嚼能力の測定は、3時間で約90名が体験することができた。評価にスコア法を用いたことで、障がいを有する方にも、短時間で簡便にかつ安全に実施ができることが分かった。歯科保健指導の際は、咀嚼能力の測定結果と摂取食品アンケート結果を重ねることで、充実した口腔管理指導と食支援の指導ができた。本事業概要を、当団体のHPや機関紙および歯科衛生士対象の商業誌にて発表することで、障がいを有する方への歯科保健活動の可能性を広く発信できた。他の口腔機能検査も体験したいという要望や地域の障害者歯科診療の実態を詳しく知りたいとの意見があり、これらを解決することが、病気や障がいのある方々の健口を通じたQOLの向上に貢献ができ、より多くの生活上の健康不安に対する相談に応えられると考え、次年度は、口腔機能検査項目の増加や他職種（管理栄養士や理学療法士）に協力を仰ぎ、歯科相談と生活指導・相談ブースの拡充を図ろうと検討している。</p>